良いお金の使われ方とは

ルネサス懇

＜発行者＞
ルネサス関連
労働者懇談会
（ルネサス懇）
意見と情報は、
〒142-0043
東京都品川区二葉
2-20-8染野ビル
（電機労働者
懇談会気付）
(03)6421-5323

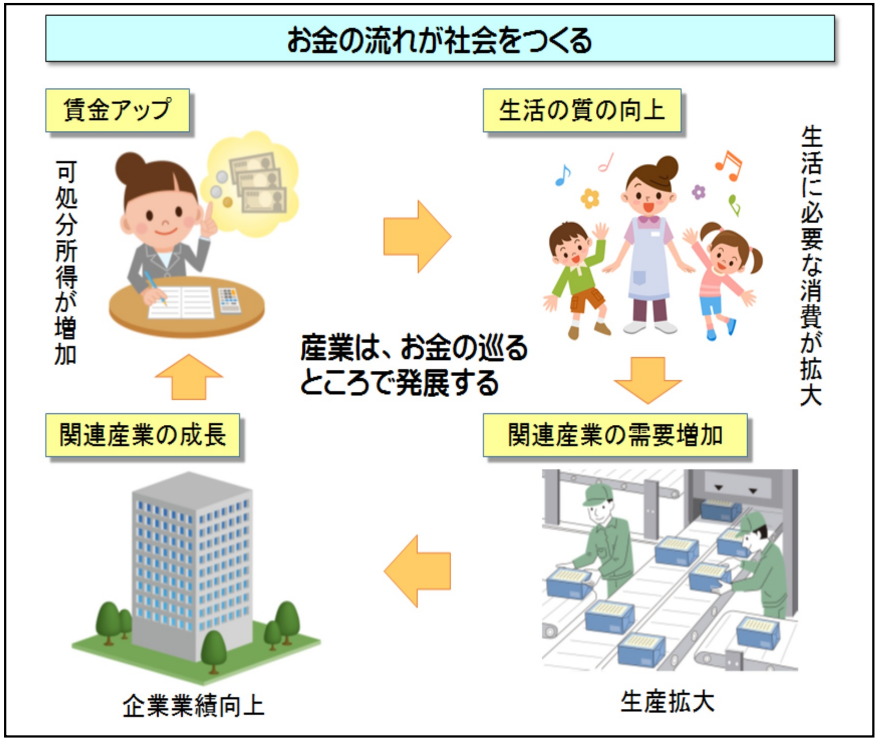
電機・情報ユニオンへの相談は、

なぜ賃上げは必要なのでしょうか

２０２５年は年始早々から食料品などが値上されると報道されました。物価上昇に賃金が追随できていないため、ここ数年の私たちの可処分所得は実質的な目減りを繰り返しています。日本の現状を鑑みれば、定期昇給はもちろんのこと、ベースアップによる賃上げを求めるのは当然の事と言えます。

しかし賃金の引き上げを求める理由は、直接に私たちの生活に影響するからだけではありません。賃上げには、それが経済全体に好循環をもたらすという面もあるからです。特に低所得者ほど、可処分所得の増加が消費に回る割合が高いために、真水の経済対策になります。しかもそのときの消費は、私たちの生活に一番必要なものが多く買われることになります。このことは、買った人の生活を確実に豊かにするとともに、そのような必要性の高い商品を生産する産業を育成し、さらに品質を高め、価格を下げることで、より良いものを購入する機会を増やすという点でも好循環を生みます。産業はお金の巡るところで発展するのです。

子供のいる家庭では、教育にかけられるお金があるかどうかも重要です。より多くの子供が良質な教育を受けられる社会ほど、発展する可能性は高くなります。



好循環を阻害する要因は何でしょうか

しかしこのような好循環は絶対に起こるとは言い切れません。特に深刻な問題は、利益を上げている企業が、十分に賃金に還元しようとしないことです。それでも、研究開発費や設備投資など、実体経済の範囲でお金が回るのなら、まだ良いと言えます。最悪なのは、投機目的で株を保有している株主を儲けさせるために、株価を引上げることにお金が使われ、架空経済の膨張のために空しく費やされて行くことです。一部の役員は、その「お礼」として、まともな勤労所得とは思えない莫大な報酬を得るかも知れませんが、そのお金もまた、私たちが生活に必要な消費をするよりも良い使われ方はされないのではないでしょうか。

衣食住をはじめとする生活必需品や、教育、医療、育児、介護、それに心身が健康で潤いある文化的な生活への消費は、もっとも良いお金の使われ方です。そのために必要な賃金を求めることもまた、社会的な善に帰するものだと言えます。

（今号が今年度の最後のビラとなります。皆さま良い年末年始を。）